

那覇ブロック確認事項

沖縄県野球連盟那覇支部学童部

那覇ブロック

I. 序

本確認事項は、沖縄県野球連盟那覇支部学童部那覇ブロック（以下、「那覇ブロック」という）が主催する大会において、公認野球規則や競技者必携に明記されていないプレイに対するジャッジ・解釈、運営上の支障を取り除くための処置、その他をまとめたものです。

那覇ブロック審判部長および那覇ブロックに所属する4地区（小禄・首里・那覇・真和志）の審判部長によって構成される那覇審判部長会によって策定され、那覇ブロック理事会の承認を経て成立しています。

なお、本確認事項の適用にあたっては他のブロック・支部で取り扱いが異なる場合がありますので、その点お含みおき願います。

II. 図説一覧

① 野球競技区画線（学童部）

- a 投手のマウンドの区画線は引かないものとする（必携 I 図説一覧 野球競技場区画線 改 / 2025 年那覇ブロック）
- b 区画線は 7.6cm 幅（5cm 幅でも可）とする（必携 I 図説一覧 野球競技場区画線 改 / 2025 年那覇ブロック）

III. 審判員・選手への注意事項

① 大会に参加するチーム・審判員の注意事項

- a 開会式について
 1. 開会式には、登録原簿に記載された全員が参加することとする。ただし、疾病、負傷、その他の理由で当日の試合に出場できない選手については、その限りではない（必携 II 審判員・選手への注意事項 全国大会に参加するチーム・審判員の注意事項 開会式について 改 / 2025 年那覇ブロック）
- b 大会審判員について
 1. 公式試合の審判員は、全日本軟式野球連盟に登録された審判員および各地区審判部長が推薦する審判員、各チーム監督から推薦された義務審判員が行う（必携 II 審判員・選手への注意事項 全国大会に参加するチーム・審判員の注意事項 大会審判員について 1 改 / 2025 年那覇ブロック）
- c 抽選会・監督会議について（2025 年那覇ブロック）
 1. 抽選会や監督会議の目的
 - (ア)円滑な大会運営を目指し、各チーム、那覇ブロック事務局、審判員、関係者等の共通認識を図る
 - (イ)規則、ルール、その他特別規程等に対する周知とその徹底を図る
 2. 抽選会・監督会議に参加する際は、公認野球規則、競技者必携、那覇ブロック確認事項を持参すること

② 競技運営に関する注意事項（学童部）

- a 監督会議で説明または決められた事項は、必ずチーム全員に徹底すること（必携 II 審判員・選手への注意事項 学童部、少年部、女子大会 §1 競技運営に関する注意事項 2 再周知）
- b ベンチに入れる人員は、
1. 登録されユニフォームを着用した監督30番、コーチ29番・28番および選手25名以内と、スポーツするにふさわしい服（長ズボン必須）と帽子を着用した、チーム代表者・マネージャー・スコアラー各1名とする。ただし、監督、コーチは18歳以上でなければならない（必携 II 審判員・選手への注意事項 学童部、少年部、女子大会 §1 競技運営に関する注意事項 6(1) 改 / 2025 年那覇ブロック）
 2. 熱中症対策として、スポーツするにふさわしい服（長ズボン必須）を着用した保護者2名までベンチに入ることができる（必携 II 審判員・選手への注意事項 学童部、少年部、女子大会 §1 競技運営に関する注意事項 6(2) 改 / 沖縄県野球連盟）
- c 打順表（登録された選手全員を記入したもの）の提出は、1) その日の第1試合は開始予定時刻の40分前までに、2) 第2試合以降は前の試合の2回終了時に、大会本部に提出し、登録原簿と照合ののち、1) その日の第1試合は開始予定時刻の30分前に、2) 第2試合以降は前の試合の3回終了時に、監督と主将が球審立会いのもと攻守を決定する
ダブルヘッダーの場合は、開始予定時刻の15分前に大会本部に打順表を提出し、登録原簿と照合し、投手の球数制限を確認したのち、監督と主将が球審立会いのもと攻守を決定する（必携 II 審判員・選手への注意事項 学童部、少年部、女子大会 §1 競技運営に関する注意事項 7 改 / 2025 年那覇ブロック）
- d ベンチ内での電子機器類（スマートフォンやタブレット、ノート PC 等）の使用・持ち込みを禁止する。指示用のメガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める（必携 II 審判員・選手への注意事項 学童部、少年部、女子大会 §1 競技運営に関する注意事項 15 改 / 2025 年那覇ブロック）
- e 試合の挨拶は、試合前後の本塁整列の挨拶が全てである。チームの大会本部及び相手チームへの挨拶は不要である（応援団への挨拶は奨励）。試合に敬意を表し本部役員・記録員・控え審判員も起立し挨拶をする（必携 II 審判員・選手への注意事項 学童部、少年部、女子大会 §1 競技運営に関する注意事項 20 改 / 2025 年那覇ブロック）
- f 試合前のウォーミングアップでグラウンドへ入ることができる大人は、選手と同様のユニフォームを着用した者（30番、29番、28番。代理は認めない）に限られる（2023 年沖縄県野球連盟）
- g 試合前に外野で円陣（声出し）を行うことを自粛する（円陣はベンチ前で行う）。また、相手チームへの威嚇・挑発と捉えられるパフォーマンスを禁止する（2024 年沖縄県野球連盟）
- h 次の試合の記録員および義務審判員は、前の試合が終了した5分後に大会本部へ集合する（2025 年那覇ブロック）
- i ファウルボールについては、1塁側ベンチから外野側は1塁側ベンチチームが、3塁側ベンチから外野側は3塁側ベンチチームが拾いに行くこととし、ボールボーイは、外野から戻ってきたボールの回収および1塁ベンチ～バックネット～3塁ベンチ間のボールを拾うこととする

③ 競技に関する連盟特別規則

- a 学童部の投球数制限について (必携 II 審判員・選手への注意事項 競技に関する連盟特別規則 7 学童部の投球数制限について 改)
1. 7 日間に 3 日以上開催される大会では、翌試合日に進出したチームの監督は、当日の試合の投球数をまとめた「投手投球可能数確認書」の内容を確認し、同意を示す署名を行う
 2. 3 日目以降の試合前には、当該チームの過去 6 日間の「投手投球可能数確認書」を元に当日の各選手の投球可能数を算出し、打順表交換時に両チームへ伝達される
- b 試合時間の計測方法について (必携 II 審判員・選手への注意事項 競技に関する連盟特別規則 9 試合時間の管理について 改 / 2025 年 JSBB 通知)
1. 試合開始の計測は、1 回の表の球審の「プレイ」宣告からです
 2. 給水タイムの計測は、「内野手全員がファウルラインを越えた時」に始まり、放送または審判員による「試合を再開します」までの 5 分間を試合時間から除外する
 3. 負傷・手当て等での一時中断の計測は、放送または審判員による「試合を中断します」に始まり、「試合を再開します」までを試合時間から除外する (秒数は分に繰り上げ)

④ 試合中の禁止事項

- a 競技場内 (ベンチを含む) では、喫煙およびガム等を噛むことを禁止する。また、喫煙可能な場所であっても、ユニフォーム (チーム名の入ったシャツ等を含む)・審判服を着用しての喫煙は禁止とする (必携 II 審判員・選手への注意事項 試合中の禁止事項 3 周知)
- b 試合会場において、鳴り物 (メガホンを含む) を使用した応援を禁止する。但し、許可された会場においてはその限りではない (2026 年那覇ブロック)
- c 両ベンチ後方や内野側、バックネット後方での応援を禁止する
応援は、自チーム側の塁 (一塁または三塁) から外野側のボールデッドライン外側で行い、横断幕やのぼり旗等もボールデッドライン外側に設置することができる (2025 年那覇ブロック)
- d 試合会場において、所定の駐車場以外への駐車 (路上駐車・違法駐車) を固く禁ずる。駐車場の駐車台数に制限がある場合は厳守すること (判明次第試合を中断し、処置されるまで再開しない) (2025 年那覇ブロック)

⑤ 試合のスピード化に関する事項

- a 監督またはコーチ等が 1 試合に投手のもとへ行ける回数は 3 回以内とする
1. マウンドに行く際に、投手 (内野手含む) にペットボトルやタオルを持参することができる (必携 II 審判員・選手への注意事項 試合のスピード化に関する事項 1 (1) 周知)
 2. 籠などに入れて内野手最大 6 人分を持参してもよい。ただし、籠などを選手に持たせて同行させることはできない (必携 II 審判員・選手への注意事項 試合のスピード化に関する事項 1 (1) 改 / 2025 年 JSBB 通知)
 3. 監督の代わりにコーチ (29 番・28 番) または控え選手 (伝令) が行ってもよい (必携 II 審判員・選手への注意事項 試合のスピード化に関する事項 1 (1) 周知)

⑥ 競技者のマナーに関する事項

- a 投手が投手板に触れて投球位置についたら、投手の動揺を誘うような大きな声を発しないこと (必携 II 審判員・選手への注意事項 競技者のマナーに関する事項 8 再周知)

⑦ 用具・装具に関する事項

- a サングラスは、大会本部の承認なしに使用できる。ただし、投手はミラーレンズサングラスの使用はできない。また、野手がサングラスを帽子の庇の上乗せることを認める（必携 II 審判員・選手への注意事項 用具・装具に関する事項 3 改）
 - 1. オーダー交換時、試合前後のあいさつ時、タイム・アピール時にはサングラスを外すこととする（2025 年那覇ブロック）
- b アイブラック（アイパッチ）の使用を認める。但し、その大きさは大人の小指大（子供の親指大）を目安とする（必携 II 審判員・選手への注意事項 用具・装具に関する事項 7 改 / 2026 年沖縄県野球連盟）

IV. アマチュア野球内規

① バッターズボックスルール（必携 III アマチュア野球内規 ② バッターズボックスルール 補足）

- a 「打者が投球に対してバットを振った場合」とは、スイングの余勢で打席から出ざるを得ないと判断されるような場合のことである。出た場合は、速やかに戻る
- b 「打者がバントをするふりをした場合」とは、セーフティバント等でバントの余勢で打席から出ざるを得ないと判断されるような場合のことである。出た場合は、速やかに戻る

[原注] 本規定は積極的に反則行為を取りにいくものではなく、試合のスピードアップを目的としたものである。したがって、審判員による事前の“選手への促し”を前提とする

[注] 本規定のペナルティは、選手個人に対して与えられるものである

V. 質疑応答

① ファウル地域のボールデッドライン（VI ① b）を越えた送球に対する処置はエンタイトル・ワンベース（VI ① a）を適用する（必携 IV 質疑応答 5.00 試合の進行 44 改 / 2025 年那覇ブロック）

- a 内野ゴロを打った打者走者をアウトにしようとした内野手が一塁に悪送球し、ボールデッドライン（ベンチを含む）を越えた場合は、打者走者が一塁に到達したとみなし、そこから1つの塁を与える。その他の走者も次の塁に到達したものとみなし、そこから1つの塁（投球当時の占有塁から2つの塁）を与える
- b 一塁（または三塁）走者に対する牽制球がボールデッドライン（ベンチを含む）を越えた場合は、投手板上からの送球も、投手板を外した場合も同じく、走者に1つの塁を与える
- c 前述の a b を除く野手の送球がボールデッドライン（ベンチを含む）を越えた場合は、走者にボールデッドラインを越えた時の占有塁から1つの塁を与える

VI. 索引

① 用語の定義

- a エンタイトル・ワンベース：走者に2つの塁を与えることが、守備側に極めて不利になるという判断から適用されるルール
- b ボールデッドライン：競技場を囲うスタンドまたは柵に替わる区画線

VII. 審判員のために

① 審判に関する取り決め事項

- a 球審は、1回表および1回裏開始前、投手へ新しいボール（≒未使用球）を手渡す。試合に先立って行われるオーダー交換時に、両チーム1球ずつ新しいボール（≒未使用球）を審判員へ手渡し、試合終了後に1球ずつ返還される（必携 IV審判員のために 審判員に関する取り決め事項 二球場への到着から試合終了まで 7 改 / 2025 年那覇ブロック）
- b 控え審判員として、現行試合の担当審判員を除く審判員にその任を与えることとする
控え審判員は、休憩中であっても現行試合を注視し、担当審判員と協議したり、誤りを訂正したりする（必携 IV審判員のために 審判員に関する取り決め事項 三控え審判員 改 / 2025 年那覇ブロック）

② 審判の服装に関する取り決め事項

- a 那覇ブロック審判服は、沖縄県野球連盟指定の審判服（ブルー）とする。移行期間中は引き続き旧審判服（ブラック）・地区審判服の着用も認めるが、できる限りクルーで統一することが望ましい（2026 年那覇ブロック）
- b 審判シューズの色の取り扱いについて、黒無地、黒ベースに白またはグレーライン入り、および白無地の使用を認める（2025 年 JSBB 通知）
 - 1. 夏季の熱中症対策を起因とするが、シーズンを通して白色シューズの使用を認める
 - 2. 球審・塁審のシューズの色の混在を認める
- c 那覇ブロックが主催する大会において、審判員の空調服（ファン付き作業着）着用を許可する（2025 年那覇ブロック）
 - 1. 審判服に準じた 1 色ものとする（複数色を使用したものや柄が入ったものは認めない）

VIII. 附則

- 2025 年 5 月 本確認事項を施行する
- 2025 年 10 月 本確認事項を改訂する
- 2026 年 5 月 本確認事項を改訂する